

●病院の概要



当院は、昭和19年に済生会創立30周年の記念事業として設立、以来3度の移転を経て平成7年に現在地の山形市北西部に移転しました。山形県唯一の公的医療機関として、済生会設立の本旨である無料低額診療等の福祉医療をはじめ、村山二次医療圏の中核的病院として高度・急性期医療を中心に地域医療を担っているほか、バングラデシュの病院への医療支援を通じて国際協力にも力を注いでいます。

平成11年には、県内で2番目の病院として日本医療機能評価機構の施設認定を受け、平成16年に更新しました。「患者さん中心の医療の実践」を基本方針として掲げ、「トータルケアの考えに基づいた疾病予防、治療、在宅医療まで継続した医療の提供」「チーム医療の充実を図り診療機能と患者サービスの向上を目指す」「地域における医療の質向上のため、他の医療機関と協力し臨床教育の実践を図る」ことを中長期的目標として職員一同研鑽に励んでいます。

山形市の二次救急医療機関の指定を受けている救急医療をはじめ、村山地域の災害拠点病院など特殊医療の充実を図り、当直体制では、救急室、産科、ICU、NICUにそれぞれ医師を配し、更に各科の拘束体制に加えて看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師が当直しており、様々な事例に対して迅速な対応が図れるよう万全を期しています。

診療においては、急性期医療に対応すべく最新の医療機器を整備、各科がそれぞれの専門領域の質向上に努めています。全7室ある手術室をすべてバイオクリーンルームとするなど、施設設備においても充実を図っています。

予防医学では、人間ドック・脳ドックはもとより、生活習慣病患者等が利用する健康増進センターを付設。また、平成15年5月に、山形県初の施設としてPET/CTセンターを開設し、癌の早期発見に大いに寄与するPET/CT装置を2台導入しましたが、検診だけでなく、病診・病病連携に大きな貢献を果たしており、県民医療のレベルアップにつながっているものと考えています。

●募集について

臨床研修

- 平成22年度研修募集定員：8名
- 処遇
 - ・基本給：320,000円（初年度）
 - ・時間外手当、当直手当
 - ・年間概算支給見込額：6,000,000円（初年度）
- 研修医の募集及び採用の方法等
 - ・募集方法：公募
 - ・選考方法：面接（9月予定）
 - ・締切：8月末頃の予定、募集人員に満たない場合は随時受け付け。
 - ・提出書類：履歴書、成績証明書、卒業見込証明書、健康診断書
 - ・マッチング利用の有無：有

- 病院見学について
随時受け付けいたします。（メールにてお申し込み下さい）

●診療科ごとの入院患者・外来患者の数

診療科名	年間入院患者実数	平均在院日数	年間新外来患者数	1日平均外来患者数	年間外来診療日数	常勤医師数	指導医数
産婦人科	1,676	12	2,331	94.5	295	6	5
内科	2,424	19	5,335	204.1	295	20	12
整形外科	1,617	21	6,290	157.4	295	15	14
外科	714	14	1,004	49.5	295	5	4
脳神経外科	555	33	739	28.8	295	2	2
小児科	568	13	681	16.4	295	4	3
泌尿器科	222	14	526	30.5	295	2	2
眼科	341	3	900	36.0	295	3	2
心臓血管外科	573	17	308	31.0	203	3	3
皮膚科			338	26.5	192		
耳鼻咽喉科	22	6	485	21.6	232		
形成外科			54	25.1	41		
麻酔科						2	2
放射線科	1		1,527	6.2		3	2
診療情報管理						1	1
研修医						9	
全科計	8,713	17	20,518	682.4	295	75	52

●学会認定施設の状況

- 日本内科学会認定医制度教育関連病院
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本感染症学会認定研修施設
- 日本静脈経腸栄養学会認定N S T稼働施設
- 日本神経学会専門医制度教育関連施設
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本内分泌学会内分泌代謝科専門医制度認定教育施設
- 日本周産期・新生児医学会専門医制度（周産期新生児専門医）暫定研修施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本乳癌学会認定医専門医制度関連施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- 日本手の外科学会認定手の外科専門医制度認定研修施設
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- 日本脳卒中学会認定研修教育病院
- 日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練施設
- 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- 日本東洋医学会専門医制度指定研修施設
- 日本産科婦人科学会専門医制度卒業研修指導施設
- 日本周産期・新生児医学会専門医制度（周産期母体・胎児専門医）暫定研修施設
- 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
- 日本胸部外科学会認定医制度指定施設
- 日本眼科学会専門医制度認定研修施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本IVR学会専門医修練施設
- 日本核医学会専門医教育病院
- 日本医学放射線学会放射線科専門医修練協力機関（放射線診断、核医学）
- ステントグラフト実施施設（腹部大動脈瘤）
- ステントグラフト実施施設（胸部大動脈瘤）
- 日本臨床細胞学会施設認定制度認定施設

●後期研修

- 応募資格
2年間の初期研修を修了した者、もしくは修了見込みの者。
- 募集科目・人数
内科（呼吸器、感染症、循環器、消化器、糖尿病）、外科、整形外科、産婦人科、心臓血管外科、放射線科
各診療科1～2名程度
- 応募期間・試験日・選考方法
担当までお問い合わせください。
- 処遇
正職員
年収（諸手当・賞与込）
1年目 900万円程度
2年目 950万円程度
3年目 1,000万円程度

●プログラムについて

臨床研修

- 特徴
 - ・内科、外科、救急医療を含む麻酔科の基本研修科目及び、小児科、産婦人科、精神科、地域保健・医療の必修科目の他に、多数の指導医と多彩な手術症例のある整形外科を当院の必修科目としている
 - ・2年次では6ヶ月間の選択研修プログラムを有し、研修医の希望により2科までのローテートを行います。選択科は2年次になってから希望を出せるので、1年次の研修中と2年次の初めまで、十分に検討した上で決める事ができる。
 - ・1名の研修医に対し1名の指導医が担当するマンツーマン形式であるため、指導医と研修医とのコミュニケーションがとりやすく、円滑な研修を行なう事ができる。

●研修スケジュール（21年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						外科			麻酔科（救急医療）		
2年次	小児科	産婦人科		精神	地域	整形	選択科					

●後期研修

- ・必要により大学、関連病院、済生会グループ内でも補充研修を受けることが可能。
- ・本人の希望にフレキシブルな対応ができるようにしている。
- ・自分だけの為の、納得のいく研修スケジュールをデザインできる。
- ・海外の臨床教育を体験する1ヶ月未満の研修費用を補助する制度がある。

もう一度コース	1年	2年間の初期研修の中で特に興味があり、もう一度特定の科目を研修したい場合のコース
専門医コース	4～6年	初期研修修了後、各自の希望する専門科を選択し、当該科において専門医を目指して研修するコース
専門医・学位コース	4～6年	初期研修修了後、各自の希望する専門科を選択し、当該科において専門医を目指して研修すると同時に、山形大学医学部医学科大学院の社会人大学院生となり学位の取得を目指すコース
総合診療科医コース	6年	希望する関連診療科（消化器内科・消化器外科）、循環器内科・心臓血管外科）をローテーションし、更に専門医を目指して研修するコース

●取得できる専門医資格の名称

- 日本内科学会総合内科専門医、認定内科医
- 日本感染症学会専門医
- 日本循環器学会循環器専門医
- 日本消化器病学会専門医
- 日本呼吸器学会呼吸器専門医
- 日本消化器内視鏡学会専門医
- 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医
- 日本糖尿病学会糖尿病専門医
- 日本外科学会外科専門医
- 日本整形外科学会専門医
- 日本産科婦人科学会産婦人科学会専門医
- 日本心臓血管外科学会専門医
- 日本医学放射線学会放射線科専門医
- 日本核医学会認定医・PET核医学認定医
- 日本血管造影iVR学会専門医
- 日本心臓血管外科学会専門医
- ステントグラフト実施基準管理委員会実施医

●医師紹介・メッセージ

●常勤勤務医師紹介

職名	氏名	診療科	学会認定医等
院長	濱崎 允	整形外科	日本整形外科学会専門医、人間ドック学会認定指定医
副院長	金杉 浩	産婦人科	日本産婦人科学会専門医、東洋医学会指導医・認定医
統括診療部長	武田 博明	呼吸器内科	日本内科学会認定医、日本呼吸器学会指導医、日本感染症学会指導医、日本化学療法学会抗腫瘍臨床試験指導者、日本人間ドック学会認定指定医、日本感染症学会ICD
統括診療部長	瀬尾 伸夫	外科	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会指導医、消化器がん科治療認定消化器専門医、日本消化器病学会専門医、日本救急医学会ICD、日本研修学会認定医、日本がん治療認定医機構認定医、日本研修学会ICD
統括診療部長	折田 博之	心臓血管外科・呼吸器外科	日本外科学会専門医、日本胸部外科学会指導医、日本心臓血管外科学会専門医、日本血管外科学会専門医
診療部長	石井 政次	整形外科	日本整形外科学会専門医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医、日本体育協会スポーツドクター
診療部長	伊藤 友一	整形外科	日本整形外科学会専門医、認定スポーツ医、日本脊髄脊髄病学会指導医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医、日本体育協会スポーツドクター
診療部長	福島 重宣	整形外科	日本整形外科学会専門医、日本体育協会スポーツドクター
診療部長	阪西 通夫	産婦人科	日本産婦人科学会専門医、日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医
診療部長	池田 茂之	循環器内科	日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医、日本心臓リハビリテーション学会指導士
診療部長	大友 純	循環器内科	日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医、医師産産業医
診療部長	本田 耕一	神経内科	日本内科学会専門医、日本神経学会専門医
診療部長	太田 圭治	外科	日本外科専門医、日本消化器外科認定医、日本乳癌学会認定医
診療部長	廣岡 茂樹	心臓血管外科・呼吸器外科	日本外科学会専門医、日本胸部外科学会専門医、日本心臓血管外科専門医、日本血管外科学会専門医
医長	松田 雅彦	整形外科	日本整形外科学会専門医・認定スポーツ医
医長	石垣 大介	整形外科	日本整形外科学会専門医・認定スポーツ医、日本手の外科学会専門医
医長	川路 博之	整形外科	日本整形外科学会認定医・リウマチ専門医
医長	木原 香織	産婦人科	日本産婦人科学会専門医
医長	鈴木 博貴	呼吸器内科	日本内科学会認定医、日本呼吸器学会専門医、日本感染症学会ICD、日本呼吸器内視鏡学会専門医、気管支鏡専門医、日本がん治療認定医機構認定医
医長	小松 尚	循環器内科	日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医
医長	平田 慎也	消化器内科	
医長	鈴木 恒治	消化器内科	日本消化器内視鏡学会専門医
医長	山口 宏	糖尿病内科	日本内科学会専門医、日本糖尿病学会専門医・研修指導医
医長	浦山 雅弘	外科	日本外科学会指導医、日本消化器外科学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本癌治療学会臨床試験登録医、日本がん治療認定医機構認定医
医長	赤羽 和博	小児科	日本小児科学会専門医、日本周産期・新生児医学会暫定指導医
医長	渡邊 順久	放射線科	日本医学放射線学会専門医、日本核医学会認定医・PET核医学認定医、日本血管造影iVR学会専門医、ステントグラフト実施基準管理委員会実施医
医長	渡邊 奈美	放射線科	日本医学放射線学会専門医、日本核医学会認定医・PET核医学認定医
医長	橋本 透	泌尿器科	
医長	石川 仁	診療情報管理	
医師	清重 佳郎	整形外科	日本整形外科学会専門医、日本手の外科専門医
医師	千葉 克司	整形外科	日本整形外科学会専門医
医師	富樫 栄太	整形外科	
医師	土屋 篤嗣	整形外科	日本整形外科学会専門医
医師	長谷川 浩士	整形外科	日本整形外科学会専門医
医師	玉木 康信	整形外科	日本整形外科学会専門医、リハビリテーション医
医師	鈴木 朱美	整形外科	
医師	鈴木 智人	整形外科	
医師	大内 久子	産婦人科	日本産婦人科学会専門医
医師	羽根田 健	産婦人科	
医師	松尾 幸城	産婦人科	
医師	土田 文宏	呼吸器内科	日本内科学会専門医、日本呼吸器学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会専門医、日本気管支鏡学会認定医
医師	小島 慶子	呼吸器内科	
医師	佐藤 千紗	呼吸器内科	
医師	盛田 麻美	呼吸器内科	

職名	氏名	診療科	学会認定医等
医師	渡邊 麻莉	呼吸器内科	
医師	松尾 拓	消化器内科	日本内科学会認定医、日本消化器学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本研修学会専門医
医師	山中 祥弘	消化器内科	日本内科学会認定医
医師	齋藤 吉彦	消化器内科	
医師	荒若 信子	糖尿病内科	日本内科学会認定医、日本糖尿病学会専門医・研修指導医
医師	齋藤 緑	糖尿病内科	
医師	高窪 野恵	糖尿病内科	
医師	川口 清	外科	日本外科専門医、日本消化器外科専門医、日本消化器病学会専門医、日本がん治療認定医機構認定医
医師	福元 剛	外科	
医師	朽木 秀雄	脳神経外科	日本脳神経外科専門医、日本脳卒中学会専門医
医師	佐藤 篤	脳神経外科	
医師	外田 洋孝	心臓血管外科・呼吸器外科	日本外科専門医、日本胸部外科学会専門医、日本心臓血管外科学会専門医、日本血管外科学会専門医
医師	齋藤 惠美	小児科	
医師	若林 崇	小児科	日本小児科学会専門医
医師	枝松 秀尚	小児科	
医師	安藤 香子	麻酔科	日本麻酔科学会指導医
医師	小林 なぎさ	麻酔科	日本麻酔科学会指導医、日本ペインクリニック学会認定医
医師	内田 礼子	放射線科	日本医学放射線学会専門医
医師	大地 宏	泌尿器科	日本泌尿器科学会専門医
医師	佐藤 さくら	眼科	日本眼科学会専門医
医師	芳賀 真理江	眼科	日本眼科学会専門医、日本網膜硝子体学会認定医、ポトックトキネン憲法研究会認定医
医師	松 下 知弘	眼科	日本眼科学会専門医
研修医	森 谷 真知佳		
研修医	辻 谷 純一郎		
研修医	花 香 直美		
研修医	五十嵐 貴宏		
研修医	長谷川 歩美		
研修医	山田 和希		
研修医	王 玉来		
研修医	西 塚 碧		

●指導医・研修医からのメッセージ

◎統括診療部長：折田 博之
 これまでも多くの研修医を山形大学医学部より受け入れており、厳しいながらも実りある研修を提供してきましたが、平成18年からは管理型臨床研修病院としてスタートし、更にシステム化されたマンツーマンの指導体制のもと、充実した研修生活と成果が得られるものと確信しております。

◎研修医：森谷 真知佳（平成19年度採用）
 初期研修医のためレクチャーも定期的に関与されており、専門分野のトピックや救急診療上のピットフォール、漢方や統計学などについて幅広いテーマが用意されています。また、BLS・ACLS・JPTICなどの院内勉強会もしばしば開催されるのでコース取得に非常に有利です。
 救急研修の一環として週一回程度の当直がありますが、必ず指導医の助言やフォローのもとに診断・治療を学んでいくことができるので安全管理の面でも安心ですし、救急患者さんのその後の経過についても電子カルテ上で知ることができるので非常に勉強になります。専門医・コメディカルスタッフも充実しているので、質の高い医療に触れることができます。やる気次第で外科系科目ではほとんど手術を担当させてもらえます。
 特徴的なプログラムとしては産婦人科が2か月間、整形外科が1ヶ月間の必修となっていることです。手術はもちろん出産・帝王切開に数多く立ち会うことができます。整形では救急に必要な診察手技なども学習でき、内科志望の方にも勉強になると思います。皆様の山形済生病院での研修が充実したものになることを祈っています。